



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日
東

上場会社名 株式会社BlueMeme 上場取引所
コード番号 4069 URL <https://www.bluememe.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 真功
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 市川 玲 (TEL) 03-6712-8196
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,804	10.2	149	△27.9	151	△27.4	79	△42.2
2023年3月期第3四半期	1,638	16.3	207	△27.6	208	△23.4	138	△25.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 80百万円(△41.8%) 2023年3月期第3四半期 138百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	22.99	22.36
2023年3月期第3四半期	39.53	37.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,876	2,488	86.5
2023年3月期	3,016	2,587	85.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 2,488百万円 2023年3月期 2,587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,650	18.1	310	0.0	310	△0.1	230	△0.1	65.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期3Q	3,562,946株	2023年3月期	3,553,546株
2024年3月期3Q	112,507株	2023年3月期	9,534株
2024年3月期3Q	3,476,682株	2023年3月期3Q	3,498,288株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料には業績予想や将来の見通しに関する記載が含まれております。これらの記載は本資料の日付時点の情報に基づき作成しており、将来の結果や業績を保証するものではありません。これら将来の見通しに関する記載には様々なリスクや不確定要素が含まれております。このため、実際の業績等は、将来の見通しに関する記載によって明示的あるいは暗黙的に示された将来の結果や業績の予測とは大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～12月31日）における我が国経済は、急激な為替変動や資源価格の高騰、東欧や中東における紛争に伴う政情不安、欧米先進国を中心とした高インフレの継続と急速な金融引き締め等により、景気の先行きは引き続き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する情報サービス産業におきましては、そのような状況の中においても、労働力の減少に対応する経営効率化や生産性向上はもとより、テクノロジーの活用により新たな価値や収益を生み出すデジタルビジネスの推進を狙いとするデジタル・トランスフォーメーション（以下「DX」という。）への需要は依然として強く、中でも将来の技術者減少や技術革新に対応するための情報システムの近代化、モダナイゼーションへの取組が活発であることから、IT投資の需要が引き続き堅調に推移するものと予想される一方、世界情勢の変化や金融の引き締め等を背景に、投資判断の先送りをする傾向が強まる可能性も懸念されております。

このような状況の中、当社グループは「新たな価値を創造し、常識を変え、文化を進化させる」という企業理念のもと、ローコードによる自動化技術及び当社グループ独自のアジャイル開発方法論を活用した、情報システム開発の内製化を推進するサービスを提供することにより、日本企業の国際的競争力を向上させることをミッションとするDX事業を展開しております。

当社グループの事業は、ローコード技術とアジャイル手法を最大限に活かせる当社グループ独自の開発方法論である「AGILE-DX」を活用したコンサルティング・受託開発サービス及び技術者向けトレーニングの各サービスを提供する「プロフェッショナルサービス」と、ローコードプラットフォーム等ソフトウェア製品を販売する「ソフトウェアライセンス販売」から構成されております。「プロフェッショナルサービス」においては、「OutSystems®」を中心としたローコードプラットフォームを活用したコンサルティング及び受託開発の提供が引き続き順調に拡大する中、将来の需要拡大に備えた当社グループ従業員技術者の採用・育成及びサービスパートナーの確保に加え、サービス提供の効率化を促進することや次世代の技術による新規事業のための研究開発にも注力いたしました。「ソフトウェアライセンス販売」においては、「プロフェッショナルサービス」の提供に伴う「OutSystems®」を中心とする当社グループ取扱製品の顧客への定着及び拡販に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,804,850千円（前年同四半期比10.2%増）、営業利益は149,560千円（前年同四半期比27.9%減）、経常利益は151,078千円（前年同四半期比27.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は79,911千円（前年同四半期比42.2%減）となりました。

また、セグメントの業績につきましては、当社グループはDX事業の単一セグメントのため記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,561,888千円となり、前連結会計年度末に比べ232,380千円減少いたしました。これは主に売掛金が減少したことによるものであります。固定資産は314,271千円となり、前連結会計年度末に比べ91,636千円増加いたしました。これは主に有形固定資産の取得による増加であります。

この結果、総資産は2,876,160千円となり、前連結会計年度末に比べ140,744千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は335,346千円となり、前連結会計年度末に比べ57,921千円減少いたしました。これは主に買掛金が減少したことによるものであります。固定負債は52,646千円となり、前連結会計年度末に比べ16,435千円増加いたしました。これは主に事業所の移転・新設に伴い、資産除去債務が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は387,992千円となり、前連結会計年度末に比べ41,485千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,488,167千円となり、前連結会計年度末に比べ99,258千円減少いたしました。これは主に自己株式の取得によるものであります。

この結果、自己資本比率は86.5%（前連結会計年度末は85.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績につきましては、2023年5月12日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,224,777	2,069,799
売掛金及び契約資産	439,908	323,237
仕掛品	5,928	17,029
前払費用	37,468	122,649
その他	87,439	29,173
貸倒引当金	△1,253	—
流動資産合計	2,794,269	2,561,888
固定資産		
有形固定資産	80,167	132,959
無形固定資産	599	343
投資その他の資産	141,869	180,968
固定資産合計	222,635	314,271
資産合計	3,016,904	2,876,160
負債の部		
流動負債		
買掛金	231,056	139,866
未払法人税等	19,824	36,114
契約負債	75,426	59,896
その他	66,959	99,468
流動負債合計	393,268	335,346
固定負債		
資産除去債務	32,826	47,737
その他	3,384	4,908
固定負債合計	36,210	52,646
負債合計	429,478	387,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	970,644	971,243
資本剰余金	961,644	962,243
利益剰余金	669,686	749,598
自己株式	△14,660	△195,577
株主資本合計	2,587,315	2,487,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	596
その他の包括利益累計額合計	24	596
新株予約権	85	63
純資産合計	2,587,426	2,488,167
負債純資産合計	3,016,904	2,876,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,638,260	1,804,850
売上原価	826,909	908,469
売上総利益	811,350	896,381
販売費及び一般管理費	603,902	746,820
営業利益	207,448	149,560
営業外収益		
受取利息	11	10
為替差益	504	1,342
貸倒引当金戻入額	478	1,253
その他	223	648
営業外収益合計	1,218	3,255
営業外費用		
支払利息	417	116
支払手数料	—	1,441
その他	245	180
営業外費用合計	662	1,737
経常利益	208,003	151,078
特別損失		
固定資産除却損	—	2,544
特別損失合計	—	2,544
税金等調整前四半期純利益	208,003	148,533
法人税、住民税及び事業税	60,634	66,951
法人税等調整額	9,084	1,669
法人税等合計	69,718	68,621
四半期純利益	138,285	79,911
親会社株主に帰属する四半期純利益	138,285	79,911

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	138,285	79,911
その他有価証券評価差額金	—	571
その他の包括利益合計	—	571
四半期包括利益	138,285	80,483
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138,285	80,483

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更に関する注記)

株式会社BlueMeme Partnersを無限責任組合員とし、2023年に設立した「BlueMeme 1号投資事業有限責任組合」に当社が有限責任組合員として出資する事を決議いたしました。また、BlueMeme 1号投資事業有限責任組合を連結の範囲に含めております。